

みんなの思いが 海を守る

「アルプス(ALPS)処理水 海洋放出に反対する署名」

に賛同をお願いします

**東京電力福島第一原子力発電所のアルプス(ALPS)処理水は、
海洋放出を行わず、別の方法で処理することを求めます。**

2021年4月13日、政府は国民の理解を得ないまま、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴うアルプス(ALPS)処理水の海洋放出を決めました。海洋放出方針は、漁業者や福島県民はもとより広く国民の反対や懸念の意思表示があるなか、「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という東京電力と地元漁業者の約束を反故にして決定したものです。

「アルプス処理水」は原発事故を起こした原子炉から発生している放射能汚染水を処理したものであり、通常原発から放出されているトリチウム水とは違うものです。安全性について、安全性の担保、国民・国際社会への理解醸成、風評対策が十分ではなく、漁業への影響はもとより地産地消活動、地域経済への重大な影響が懸念されるところです。

こうしたことから、豊かな海を次世代に引き継ぐためにも、アルプス処理水は海洋放出を行わず、関係者の理解が得られる処理方法で実施することを、広く県民、国民への理解を広げながら、経済産業大臣、東京電力ホールディングス株式会社代表者、関係自治体等に求めていく取り組みとしてすすめていきたいと考えております。

■呼び掛け人 (2021年6月8日)

みやぎ生活協同組合・コープふくしま、宮城県漁業協同組合、宮城県生活協同組合連合会、福島県生活協同組合連合会

■署名実施期間 **2022年4月4日(月)～4月29日(金)**

裏面が署名用紙になっています。ご署名いただきましたら、期間内に配送担当者へお渡しください。

記入時のご注意 ・必ず黒のボールペンをご使用ください。 ・ご家族の代筆も可能です。

お問い合わせ先

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内

「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局

〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F Tel.024-557-1181

内閣総理大臣 様
経済産業大臣 様
東京電力ホールディングス株式会社代表者 様

アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名

2021年4月13日、政府は東京電力福島第一原発事故に伴うアルプス(ALPS：多核種除去装置)処理水の海洋放出を決めました。海洋放出方針は、漁業者はもとより国民の反対や懸念があるなか「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という東京電力と地元漁業者の約束を反故にして決定したものです。

「アルプス処理水」は、原発事故を起こした原子炉から発生している放射能汚染水を処理したものであり、通常原発から放出されているトリチウム水とは違うものです。アルプス処理すればトリチウム以外は除去可能とされていますが、実際には基準値を超えるトリチウム以外の核種の存在も指摘され、海洋環境への影響が懸念されています。安全性の担保、国民的理解、国際社会の理解醸成、風評被害対策について、大きな課題として残ったままです。

このまま海洋放出が行われることになれば、地域経済に大きな影響を及ぼし震災復興のために払われてきた10年の努力が水泡に帰す大きな懸念があります。今後30年以上の長期間にわたる海洋放出は許されることではありません。

廃炉の完了と東日本大震災、原発事故からの復興への道は、長く先が見通せない状況にあります。原発の廃炉、復興にむけての取り組みは、関係者、国民との理解と信頼のもとすすめるべきです。

こうしたことから、豊かな海を次世代に引き継ぐためにも、アルプス処理水の処分は、海洋放出によらず、関係者、国民の理解が得られる別の方法で、実施することを要請します。

要 請 事 項

一、東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム等を含むアルプス処理水は海洋放出を行わず、関係者、国民の理解が得られる別の方法で処理すること。

氏 名	住 所

※ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

■呼びかけ団体

- ・みやぎ生活協同組合・コープふくしま
- ・宮城県漁業協同組合
- ・宮城県生活協同組合連合会
- ・福島県生活協同組合連合会

■取扱い団体

富山県生活協同組合連合会
とやま生活協同組合

署名送付先

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部分内「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F Tel.024-557-1181